



八戸高専だより

第149号 平成28年3月

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16-1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>



目

次

卒業生・修了生への祝辞(学校長)	1
卒業生・修了生への祝辞(後援会長)	2
本科生 祝・卒業	3
卒業生・修了生の進路状況	5
就職・進学体験記	7
卒業研究テーマ一覧表	8
専攻科生 祝・修了	10
専攻科特別研究発表会表彰者	10
専攻科特別研究テーマ一覧表	11
退職するにあたって	13
4学期制について	14
厚生補導委員会から	15
第4学年見学旅行	15
インターンシップ	15

新任教職員紹介	16
学生会から	17
北辰寮から	18
図書館委員会から	19
国際交流委員長から	20
男女共同参画委員長から	21
相談室から	22
体育大会結果一覧	23
COC関係	24
各種コンテスト結果一覧	24
卒業生・修了生表彰	25
各種検定資格合格者数	26
スポーツ賞受賞者	26
平成28年度行事予定表	27



卒業・修了される皆様へ

— 大志を抱いて挑戦! —

八戸工業高等専門学校

校長 岡田 益 男

卒業・修了を迎えられた皆様、おめでとうございます。

八戸工業高等専門学校での5年間あるいは7年間の研鑽に敬意を表しますとともに、これまでの保護者の皆様のご支援に深く感謝する次第です。卒業生、修了生の皆様は入学時に比較して心身共に目覚ましく成長されたことと存じます。

本校は平成25年に創立50周年を迎え、昨年7月には170名が収容できる創立50周年記念ホールが完成致しました。一部は専攻科学生の講義室として利用され、創立50周年記念事業に対して、ご協力頂いた保護者の皆様の温かいご支援とご協力に対して、あらためて深甚の感謝を申し上げたいと存じます。

平成27年度は学科・専攻科の再編、4学期制の導入など、新たな八戸高専を目指した1年でした。2学期制に慣れた5年生には戸惑いも数多くあったかもしれません。新しい4学期制度の目的は、学生が将来にわたって学習する基盤を培い、主体的に学ぶ習慣や社会の発展に寄与する志や責任感を身に付けられるような教育カリキュラムの導入があります。教えられる場から自ら学ぶ場への転換です。

この1年も、学生が就職・進学、課外活動、クラブ活動等において素晴らしい実績を挙げております。

まず、就職・進学率ですが、本年度の本科の進学率は昨年度と同様の45%、専攻科では多くの有名校に挑戦し合格となり、進学率は48%でした。これは、本科や専攻科の学生が積極的に編入学試験や大学院入学試験に挑戦した結果だと存じます。

また、一昨年度から専攻科の特別研究や本科の卒業研究において、英語での発表を奨励することとしました。特筆すべきは、専攻科の特別研究の発表において昨年度同様に、31名中31名全員が英語で発表したことです。本科の卒業研究発表においても、多くの学科で複数の学生が英語で発表しております。今後も、多くの学生が異文化の体験ができるように短期留学プログラム等を充実させる予定です。

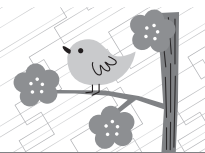
また、課外活動、クラブ活動についても素晴らしい実績を挙げております。プログラミングコンテスト全国大会競技部門で優勝、Hondaエコマイレージチャレンジ全国大会（大学・短大・高専・専門学校クラス）3位、4位（全国高専で1位、2位）、デザインコンペティションAMデザイン（3Dプリンタ）部門で特別賞と奨励賞、全国高専体育大会女子ソフトテニスシングルス1位、2位など輝かしい成果を挙げております。また、陸上や柔道等の個人部門においても数々の優れた業績を挙げております。学校を代表して、熱心に取り組んだ学生の皆様、ご指導頂いた教職員や監督、コーチにあらためて御礼申し上げます。就職にも、進学にも、クラブ活動・課外活動にも、チャレンジする姿勢が、このような業績につながってきたのではないかと考えます。

卒業・修了後の就職先での仕事は、製造現場のもの作りや、研究においても、一人での仕事でなく、全てチームとして実施いたします。仕事を確実にこなせる能力はもちろんですが、人間力が重要となります。これまで、本校において授業や寮生活、クラブ活動・課外活動などを通じて培った「知力」、「気力」、「体力」、「実践力」、「先輩を敬い、後輩を慕う力」を基にチームの一員として、諸先輩と相談しながら何事にも失敗を恐れず、課題に果敢に挑戦して下さい。必ず課題を克服できると思います。「大志を抱いて挑戦」です。

卒業・修了生の皆様が就職・進学後も国際的に活躍できる技術者・研究者として、輝く未来に羽ばたくためには、「失敗を恐れず挑戦する」姿勢だけでなく、高い倫理観に基づく行動規範を持ち、礼儀正しい挨拶、周りへの感謝の気持ちや気遣いの一言を常に心がける等、社会人として健全なモラルを持ち続けていくことが肝要です。引き続き保護者の皆様のご支援・ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

最後に、卒業と修了に際しこれまでご支援頂いた保護者の方々、親族の方々に御祝いと感謝を申し上げ、卒業生、修了生に、輝かしい未来が開かれますように心から祈念したいと存じます。

後援会長祝辞



後援会長 岩 瀬 勝 志

今春、卒業を迎える八戸高専本科・専攻科の卒業生・修了生の皆様、おめでとうございます。そして、長きにわたりサポートされてきた保護者の皆様に、心よりお祝い申し上げます。

また、岡田校長をはじめ諸先生方の厳しくも且つ温かいご指導により卒業・修了できたことに心より感謝いたします。

卒業生・修了生の皆さんは、中学校の卒業とともに八戸高専に入学し、15歳の多感な時期に親を離れ不安なまでの寮生活が始まり、いつしか生活の基盤になった事だと思います。苦楽を共に一緒に生活した、高専での思い出の数々が、心の糧として輝きを増していく事でしょう。そしてこの経験は、これからの社会で活躍するみなさんにとって必ず助けになる事だと思います。過密で難しい授業に追われ、試験やレポート研究発表の忙しい中、クラブ活動や部活動に励み輝かしい活動をされました。自分たちで企画行動し、全員が参加し全員で盛り上げた高専祭などの課外活動の数々の実績は、皆さんの並々なぬ努力と、知恵と熱意と実力の融合であったと思います。卒業後、就職し社会で活躍される方、専攻科へ進学される方、別の大学への編入、大学院への進学など、進む道はそれぞれ違えどもこの卒業という一つの節目に胸を張って、堂々と飛び立つあなた方を見送る事を喜び、そして一人一人を誇りに思います。

八戸高専は、平成27年度から学科と専攻科が再編成されました。地域のニーズに即し、地域企業等からの要望を基に、1学科4コース制を導入しました。地域に密着した金属系や、建築系のカリキュラムや研究の充実を推進しています。より地域に密着し臨機応変に対応できるようにするためです。学科名を産業システム工学科とし、『機械システムデザイン』『電気情報工学』『マテリアル・バイオ工学』『環境都市・建築デザイン』の4コースへと大きく変わりました。

更に、今年度から4学期制導入となり今までの座学の教育から自ら学ぶ方向へと、大きく変わりました。国内外のインターンシップとアクティブ

ラーニングなど、教育カリキュラムや評価も大きく変わりました。

変わり続ける社会、激動の世界において、社会からの期待と要請は、ますます高まっております。その中で、半世紀以上に渡り多くの先輩たちが、各界で幅広く活躍され、高い評価を受けております。そして、八戸高専には、自由な校風、課外活動を自由にできる環境、北辰寮などがあります。例えば、創立50周年記念ホールは、顔と顔を合わせリアルなコミュニケーションの場としてと、より良い発想・ひらめきや創造性を高め現場力をつけていく事でしょう。この様な素晴らしい環境で学んだ事や先輩方のつながりを誇りに思っていて欲しいと感じております。そして、この環境や大人として対応して頂ける校風を管理し寛大な心で見守って頂いた、校長・諸先生方・職員の方々・高専関係者の方々・地域の皆様・保護者皆様と家族への感謝は忘れず、時々思い出して頂ければ幸いです。

卒業生・修了生の皆様は、同時に社会のスタートの時を迎えます。世界は常に進歩・発展の流れの中で前進を続けております。そんな中で皆さんは直感を信じ、ライフワークに一步を踏み出し『希望に生き抜く』事を心より願っております。人間は学び成長する事が出来る。自己改革の努力の中で個性が光る自分を築けます。そして、過去の経験を自分の成長に生かす人を『大人』と呼ぶのではないかと思います。大人として社会に責任ある行動で、八戸高専で培った経験を生かし大いに活躍される事を望んでおります。

最後に、専門性と多様性が同時に必要とされて、より一層の人間性と許容を求める現代社会は、自動運転化する自動車や宇宙ビジネスへの更なる発展を遂げようとしています。この様な新しい時代にこそ、強いリーダーシップを発揮し、中心的な人材として活躍されることを切に願っています。私からのお祝いの言葉といたします。

本科生

機械工学科



本科生

電気情報工学科

卒業を祝して

機械システムデザインコース長 武尾 文雄

皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

皆さんは今、新しいスタート地点に立っています。進学する人は新しい環境でさらに勉学を修め、就職する人は給料をもらう立場として自分の力を発揮することになります。企業での仕事にも大学での研究にも、乗り越えるべき壁が次々に現れると思います。学生時代に培った気力、知力、体力を活かして、一つずつ乗り越えて下さい。とことん考え抜けば道は開けるものです。考え続ければ、ふとしたところで良いアイデアが浮かんだりするものです。頑張ってください。

皆さんのご健康とご多幸をお祈りいたします。

新たな門出に際し

機械工学科5学年担任 森 大祐

卒業を迎える皆様ならび保護者の皆様には心よりお慶び申し上げます。

進路は様々ですが、これから色々なチャレンジが待っています。失敗・挫折を味わうことがあると思いますが、その時には「自分はやったのか？できなかったのか？」心に聞いてみて下さい。十分な結果が得られず「できなかった。」という時があるかもしれません。それでも「自分はやった。」と自信を持って言い切れるよう、困難にぶちあたってもあきらめることなく行動して下さい。あきらめないの連続でできるようになるはずですよ。卒業する皆さんにはその能力があるはずです。

皆さんとの5年間楽しかったです。ご健康とご多幸をお祈りします。

高専での5年間

機械工学科5年 高松 賢也
(青森市立三内中学校出身)

5年間の高専生活、みなさんどうでしたか？私は今思えばとても充実した、あっという間の5年間でした。テスト週間、体育大会、高専祭、卒業研究、CAD、CAD、CADと挙げればきりがありませんが、確実にこれからの人生の支えになったと思います。これから社会に出て行くにあたって様々な困難があると思いますが、高専で過ごした5年間に励みに過ごしていきます。

最後に、指導してくださった教員のみなさま、なにより一緒に歩んできたクラスのみなさん、本当にありがとうございました。

卒業を祝して ～最善を尽くそう！～

電気情報工学コース長 松橋 信明

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、心よりお祝い申し上げます。

人生を歩む間には、いろんな壁に衝突することと思います。でもそんな時は、最善を尽くして下さい。そうすれば必ず道は開けます。最善を尽くすことによって、必ずステップアップできます。そして、前向きな姿勢でがんばりましょう。でも、突進だけでは危険ですので、時々フィードバック制御をかけることも忘れないで下さい。

これまで育てて下さった保護者の皆様に感謝するとともに、卒業生の皆様の今後のますますのご活躍とご健勝を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご卒業おめでとうございます

電気情報工学科5学年担任 釜谷 博行

今、まさに卒業の時ですね。全てに一区切りです。4月からはそれぞれの道で別々のスタートラインに立つことになります。

高専に入学したばかりの頃、5つも年上の上級生に驚いたことと思います。あれから5年。幅広い人間関係の中で成長し続けてきたわけですから、新しい道でもきっと力を発揮できるでしょう。自信をもって臨めるはずです。今日までみなさんを支え続けてくださった保護者、家族、友達、地域、教職員など多くの方々への感謝の気持ちも忘れてはなりません。

進むべき道はそれぞれ異なりますが、自分自身の力を信じてスタートを切りましょう。ご活躍を楽しみにしております。

卒業を迎えて

電気情報工学科5年 近藤 雄哉
(八戸市立下長中学校出身)

私たちは先生方に「みんな第一希望で入学したから頭いいよね」と期待されていましたが、あまり勉強ができるクラスではありませんでした。しかし、卒業を無事迎えることができ、とても安心しています。

さて、この5年を振り返ってみると、体育大会、高専大会、球技大会、高専祭などたくさんの行事の中でその年ごとに思い出があります。最初の頃は長い5年間になると思っていましたが、とても短く楽しい高専生活をこのクラスで送ることができました。

最後にこの5年間ご指導してくださった先生、特に担任の先生方に感謝し、これからのE5の皆さんの頑張りに期待して終わります。本当にありがとうございました。



高専を旅立つ皆さんへ

マテリアル・バイオ工学コース長 松本 克才

卒業おめでとうございます。卒業生諸君ならびに保護者・ご関係の皆さまには心よりお慶び申し上げます。

高専での学生生活はいかがでしたか。終わってみると、あっという間に感じることでしょう。日々充実して過ごせていたのなら良いのですが、ある程度は何もしないで甘えていても時が解決してくれたこともあるでしょう。しかしこれからはイチ成人として見られますので、そうはいきません。その責任感を楽しみに感じることができるよう、前向きに人生を歩んでください。

人生の大きな流れの中で努力をすれば、必ず道は開けます。ご活躍を祈念しております。

縁を大切に

環境都市・建築デザインコース長 南 将人

ご卒業おめでとうございます。学業を終えて旅立つ皆さんに心よりお祝い申し上げます。技術の継承や各種建設構造物の老朽化対策等、日々の生活を安心・安全に送るために若い皆さんの力に大きな期待が掛かっております。学校で学んだ事と講義や実験・実習で体得した知識に自信と誇りを持って大いに活躍される事を願っております。

今後の長い人生で仕事やプライベートを通じて様々な人と出会う事でしょう。その人との縁で「幸せ曲線」が上昇または下降する人が有ります。これから遭遇するであろう逆境を歓迎し、様々な人との「縁」を生かし、より楽しい人生を送って下さい。皆さんの御活躍に期待しています。

卒業おめでとうございます

物質工学科 5 学年担任 佐々木 有

高専卒業おめでとう。晴れて高専を卒業できたのも、ご家族の深い愛情のお陰だったと忘れず、新たな一歩を踏み出してください。高専生活でのさまざまな経験は、今後の大きな糧となることでしょう。これからは自己実現、そして、自立した人間になれるよう、失敗を恐れず積極的に色々なことにチャレンジしてみてください。そこから新たな自分を発見できるはずですよ。これまでに養ってきた知力と体力で輝かし未来を自ら切り開いてください。学び舎を巣立つ物質工学科 5 年の皆様の新たな門出を心より祝福するとともに更なる発展を願って卒業のお祝いとします。

卒業おめでとうございます

建設環境工学科 5 学年担任 藤原 広和

2 年生のときにもクラス担任をさせていただきました。5 年間は本当に短いものです。しかし、その短い間に皆さんはとても逞しくなったと思います。卒業、本当におめでとうございます。これから、技術者として、便利な生活、安全・安心な生活、健康で快適な生活の確立を目指すことと思います。この実現のためには、新たな知識の修得、技能の体得、問題・目的・プロ意識を持った偏見のない態度、そして自己の向上を継続することです。これからの人生、多くの様々な困難・苦難もあるとは思いますが、信念を貫いて頑張ってください。八戸高専卒業生としての皆さんの大いなるご活躍を祈念いたします。

卒業をむかえて

物質工学科 5 年 宮本 拓也
(今別町立今別中学校出身)

入学当初は 5 年後の自分の姿など全く想像できず、夢物語のように思えた 5 年間は瞬く間に過ぎてしまい、気づけば卒業を迎えていました。部活や寮生活、全力で楽しんだ行事や心身を削って取り組んだレポートやテスト勉強など暇な時間なんてまったくないほど充実した高専生活を送ることができました。これはほかの学校では絶対に体験できないことで、これからの未来できっと心の支えとなり、役に立つと思います。最後に、5 年間熱心にご指導をしてくださった先生方に心から感謝を述べると共に、E 5 の皆さんの今後の健闘を祈り、結びとさせていただきます。本当にありがとうございました。

支えの力

建設環境工学科 5 年 馬渡 大壮
(八戸市立三条中学校出身)

長い高専生活の中で自分は数え切れないほど多くの失敗をしました。正直、今でも引きずっているものも沢山あります。同じ過ちは二度と繰り返したくありませんが、だからと言って何も失敗をしないために尻込みしようとは思いません。今だから分かることですが、失敗の後は決まって暖かい声をかけてくれる仲間や先生、家族がいました。周りの応援なしでは今の自分は絶対になかったと思います。卒業後も物怖じせず、どんなことにも挑戦していくとともに、少しずつ支えてくれた人へ恩返しをしていきたいです。今まで本当にありがとうございました。

平成27年度 卒業生・修了生の進路状況

今年度の本科卒業予定者及び専攻科修了予定者の進路状況を下表に示します。具体的な就職先、進学先は次ページの表の通りです。

本科卒業予定者は150名であり、卒業予定者の46%（昨年度41%）に相当する69名が進学、76名が就職です。専攻科修了予定者は31名であり、修了予定者の48%（昨年度50%）に相当する15名が大学院に進学し16名が就職します。本科、専攻科ともに進学者が昨年と同様の水準を保っております。また、若干名が現在活動中です。

本科生に対する就職求人活動は2388件（昨年度2176件）、同じく専攻科では1813件（昨年度1673件）と、いずれも上昇しております。求人担当者からのお話を伺うと、共通していることは、高専生は多くの実験実習を通し、理論と技術に関連付けて理解でき、行動力があるので、今後も採用数を増やしたいところが多いようで、この傾向は、来年度以降も継続するものと期待しています。

本科の進学先で最も多いのは本学専攻科で、昨年度の40名と同じ人数となりました。この理由は、国立大学編入学に比較して学費が安いこと、少人数教育、大学院への進学に有利等が挙げられそうです。専攻科の進学先では、東北大学大学院が9名と最も多く、次に東京工業大学大学院となっています。最近の傾向として、各大学院では専攻科からの進学を歓迎している事は特記すべきところです。

実際に、本科からの大学編入や専攻科からの大学院進学について、大学側からの働きかけが積極的に行われています。進学に関する情報は、各大学のパンフレットやホームページ等から得ることもできますが、大学の担当者が本校を訪れ、説明会等を行っていただける事や、インターンシップ等を受け入れていただく活動も行われています。

ただ注意すべきことは、下表を一見し、就職も進学も自由自在と考えてしまうことです。就職の場合、求人数が多く、簡単に内定をいただけるように思えるかもしれませんが、実際には第一志望に合格できるとは限らず、また進学も十分な用意をしないと結果は伴いません。

進路を成功させるのは全て本人の心構え次第なのです。ほとんどの求人担当者が企業に欲しい人材として、知識はもちろん元気と行動力、それにコミュニケーション能力の高い学生を挙げています。これらのことは、エントリーシートや適性検査、面接で試されます。したがって、日ごろからの自己啓発を行うことで、十分な準備をしておく事が重要と考えます。

本校では進路指導を強化しています。進学相談に関しては担任、コース長（学科長）、指導教員等に相談してください。また就職進学ガイドブックも活用するようにしてください。

就職担当幹事

南 将人（環境都市・建築デザインコース長）

本 科	卒業予定者			進学者 (大学・専攻科)			就 職 者			そ の 他			求人数 人	求人倍率 倍
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
機 械 工 学 科	34	1	35	16	0	16	18	1	19	0	0	0	701	36.9
電 気 情 報 工 学 科	33	7	40	15	1	16	18	6	24	0	0	0	729	30.4
物 質 工 学 科	21	17	38	14	8	22	6	7	13	0	2	2	445	34.2
建 設 環 境 工 学 科	23	14	37	11	4	15	11	9	20	0	1	1	513	25.7
計	111	39	150	56	13	69	53	23	76	0	3	3	2388	31.4

専 攻 科		修了予定者			大学院進学者			就 職 者			そ の 他			求人数 人	求人倍率 倍
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
機械・電気 システム工学専攻	機械系	11	0	11	6	0	6	5	0	5	0	0	0	526	105.2
	電気系	5	0	5	3	0	3	2	0	2	0	0	0	536	268.0
物 質 工 学 科		6	1	7	4	1	5	2	0	2	0	0	0	340	170.0
建 設 環 境 工 学 科		6	2	8	1	0	1	5	2	7	0	0	0	411	58.7
計		28	3	31	14	1	15	14	2	16	0	0	0	1813	113.3

平成27年度 就職・進学先一覧

【就職－本科】

就 職 先	M	E	C	Z	計
株式会社 I H I	1				1
アイフォーコム株式会社		1			1
青森県			1		1
アステラスファーマテック株式会社			1		1
株式会社岩沢測量コンサル			1		1
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー		2			2
榎本ビーエー株式会社	2				2
エプソンアトミックス株式会社	1	1			2
おいらせ町			1		1
株式会社大泉製作所			1		1
オークマ株式会社	1				1
花王株式会社		1			1
株式会社クレハ	1		1		2
国土交通省関東地方整備局				2	2
国土交通省東北地方整備局				4	4
独立行政法人国立印刷局		1			1
サクサシステムエンジニアリング株式会社	1				1
株式会社産業公害・医学研究所八戸分室			1		1
サントリーホールディングス株式会社	1				1
株式会社サンライズ・エー・イー		1			1
JX日鉱日石エネルギー株式会社 仙台製油所		1			1
JX日鉱日石エネルギー株式会社 中央技術研究所	1		1		2
JX日鉱日石エルエヌジー・サービス株式会社	1				1
JFE スチール株式会社 東日本製鉄所		1			1
シオノギ分析センター株式会社			1		1
第一三共プロファーマ株式会社			1		1
大日精化工業株式会社			1		1
株式会社太平洋コンサルタント			1		1
高砂熱学工業株式会社				1	1
竹田設計工業株式会社	1				1
中外製薬工業株式会社			1		1
中部電力株式会社		2			2
DMG森精機株式会社	1				1
東海旅客鉄道株式会社	1				1
東芝メディカルシステムズ株式会社		1			1
東新工業株式会社 横浜工場			1		1
一般財団法人東北電気保安協会		1			1
東北電力株式会社	1	2		1	4
株式会社 N I P P O				1	1
日本原燃株式会社	1	4	2	1	8
八戸市	1			2	3
八戸製錬株式会社 八戸製錬所	1				1
東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社				1	1
フジテック株式会社		1			1
北海道電力株式会社		1			1
北海道旅客鉄道株式会社	1				1
株式会社みちのく計画				1	1
三井共同建設コンサルタント株式会社				1	1
三菱自動車エンジニアリング株式会社	1				1
むつ小川原原燃興産株式会社		1			1
むつ小川原石油備蓄株式会社	1				1

平成28年3月8日現在

就 職 先	M	E	C	Z	計
メタウォーター株式会社		1			1
盛岡市				1	1
森永乳業株式会社 利根工場			1		1

【進学－本科】

進 学 先	M	E	C	Z	計
〔大 学〕 北海道大学				1	1
室蘭工業大学	2	1			3
岩手大学	1	4	1	1	7
東北大学	2		1		3
秋田公立美術大学			1		1
筑波大学			1		1
宇都宮大学		1			1
埼玉大学	1				1
首都大学東京				1	1
東京工業大学			1		1
長岡技術科学大学		1	5	1	7
金沢大学	1				1
信州大学			1	1	2
豊橋技術科学大学	1	2	1	3	7
広島大学		1			1
〔専 攻 科〕 八戸工業高等専門学校	8	6	10	7	31

【就職－専攻科】

就 職 先	ASM	ASE	AC	AZ	計
アイリスオーヤマ株式会社	1				1
青森県				1	1
A C M 栃木株式会社			1		1
N O K 株式会社	1				1
鹿島建設株式会社				1	1
国土交通省東北地方整備局				2	2
株式会社 SilBurg	1				1
セイコーエプソン株式会社		1			1
日本原燃株式会社		1			1
日本工営株式会社				1	1
八戸市				1	1
東日本旅客鉄道株式会社				1	1
株式会社メイテックフィルダーズ	1				1
メタウォーター株式会社	1				1
メルテックス株式会社			1		1

【進学－専攻科】

進 学 先	ASM	ASE	AC	AZ	計
北海道大学大学院			1		1
東北大学大学院	6	1	1	1	9
筑波大学大学院		1			1
東京工業大学大学院		1	3		4

就職・進学体験記

就職活動

機械工学科5年 磯沼 文哉
(おいらせ町立百石中学校出身)

私が就職について考え始めたのは4年生の見学旅行がきっかけでした。見学させて頂いた企業が興味を持っていた重工系が多く、そこから重工系の企業に就職したいという気持ちが固まっていきました。

実際に就活を始めて一番困ったのは、履歴書を書くことです。書くためのネタは多かったのですが、より良い履歴書を書こうと校内を奔走し5～6人の先生にアドバイスを頂いている内に先生方のアドバイスに食い違いが生じて履歴書がなんなのかわからなくなりました。最後は武尾先生を信じました。

面接やSPIは事前にしっかりと準備をしておけば本番落ち着いて試験に臨むことができるので早過ぎるくらいから準備をすることを勧めます。

今は入社後に行われる専門科目のテストにむけて勉強中です。進学しなくても日々勉強なのだと思っています。

来年度就活する4年生のみなさん、自分の行きたい企業の内定をぜひ掴み取って下さい。応援しています。

編入学試験を終えて

物質工学科5年 寺下 美穂
(八戸市立長者中学校出身)

遺伝子工学という分野に興味を持ち、3年次、東北大学のオープンキャンパスに参加してから編入学を強く意識するようになりました。極度の心配性で、あれもこれもやらねばだめだと、ただがむしやに勉強してきた低学年の頃と比べ、やりたい事が明確になってからは受験勉強に対し前向きに取り組みました。それでも、試験日が八月後半と遅く、教科数も多かったことから、目指す道に進みたい、でも一人で勉強を続けるのが辛いという葛藤に何度も苦しみました。そんな受験期間を乗り越えることができたのは、時間を割いて教えてくださった先生方、行き詰まっている私に、声をかけて励ましてくれたC5のみんな、何も言わず見守ってくれた両親のおかげです。本当に感謝しています。受験勉強は大変ですが、それ以上に得るものは大きく、勉強以外にも多くのことを学べます。拙い体験記ですが、編入を考えているみなさんの何か参考になれば嬉しいです。

専攻科進学

電気情報工学科5年 坂本 和哉
(野辺地町立野辺地中学校出身)

私が専攻科への進学を決めたのは、他の人たちに比べるとかなり遅い時期でした。もともとは、就職をするつもりだったのです。しかし、4年間この学校で勉強をしてきて、もっと勉強を続けたい、もっといろいろな経験を積みたいと考えるようになりました。4年次までの成績も推薦入学の基準をなんとかクリアできていたため、私は専攻科への進学を決意しました。

後輩の皆さん、もしあなたが、今の高専での勉強を少しでも楽しいと思っているのなら、あるいは、高専で行ってきた実験や研究にもっと打ち込みたいのなら、私はぜひとも専攻科への進学を勧めます。紆余曲折ありましたが、今はこの選択をしてよかったと、そう思います。

最後になりますが、専攻科進学にあたって私の支えになってくれた両親、友人、そして先生方すべての人たちに感謝を申しあげます。本当にありがとうございます。

大学院進学体験記 ～東北大学大学院～

建設環境工学専攻2年 類家 渉
(五戸町立倉石中学校出身)

私は東北大学大学院工学研究科推薦入学特別選抜（高等専門学校）試験を受験しました。大学院進学に向けて一番初めに取り組んだことは研究室訪問でした。専攻科1年の夏のインターンシップで東北大学の興味のある研究室を1週間見学させていただきました。私にとってこのインターンシップが研究室を志望する大きな要因となりました。専攻科2年に上がりすぐに募集要項を取り寄せました。東北大学の募集要項は学生課に無かったので、自分で郵便で取り寄せました。推薦（高専）の試験内容は小論文と面接でした。小論文対策として、過去の小論文の問題（ホームページ参照）の答えを書いて先生に添削していただき、それを丸暗記し時間内に書き上げる練習をしていました。本番の面接は厳しい雰囲気ではなく10分程度の簡単なものでした。将来、大学院進学を目指している方は是非頑張ってください。

祝 修了 専攻科生

チャレンジ精神をもって

専攻科長 工藤 憲昌

専攻科は、13回目の修了生を送り出すことになります。今年度は、学位の特例認定が「電気電子工学」と「応用化学」の2区分に導入されたことが大きな変更点でした。最近、教育面で力を入れている地域企業等との共同教育（COOP）、国際交流では、海外も含めた学外の方との関係が深まり貴重な経験をつんだことでしょう。大学院進学では、昨年同様有力大学の大学院に15名が合格しました。就職についても、有力企業や公務員内定をみごと勝ち取ってくれました。このように、専攻科でチャレンジ精神に溢れた数々の取組は皆さんの今後の活躍を予感させてくれるものであるとともに、後輩も良い目標として励んでくれると期待しています。

今後それぞれの道を進むことになりますが、いつまでも友人を大切に、専攻科で学んだ知識・志気を大いに発展させていってください。

専攻科修了を迎えて

物質工学専攻 2年 小笠原大介
(八戸市立市川中学校出身)

高専入学から7年、長いようで短かった高専生活が修了を迎えました。特に専攻科2年間は、自分の将来を考えることのできた大切な時間だったと思います。専攻科に入学してからは、様々な経験から多くのことを学べました。1年次の夏季には、東京工業大学にインターンシップを行いました。東工大では最先端の研究を知り、そして大学院進学について考える機会となりました。また、冬季には学会に参加し、多くの方々と交流を深めました。2年次は、自分の進路を決めた重要な期間でした。大学院進学を目指し、勉強に励みました。結果、推薦で東工大に合格することができました。本科、そして専攻科での日々の努力が実を結んだのだと思います。今後は、高専で学んだ知識を大学生活に大いに発展させたいと思います。

最後に、今までお世話になりました先生方、物質系の皆さんありがとうございました。

……専攻科特別研究……… ……発表会表彰者………

【最優秀賞】 特別研究最優秀賞を受賞して

機械・電気システム工学専攻 2年 長内 大輔
(鶴田町立鶴田中学校出身)

1月22日、この日は私にとって特別な日になりました。専攻科特別研究発表会は本科を含めて3年間の研究成果を発表する場です。数年前から英語によるプレゼンテーションが推奨され、本年度も専攻科全員英語で発表を行いました。その中でどのようにして発表に対し優劣がつくか、私は聞き手の気持ちになってプレゼンできるかどうかだと思っています。そこで、今回の発表では専門外の方々にも自分の研究を理解していただける発表にすることを私の中でコンセプトとしました。この戦略が功を奏し、最優秀賞をいただけたことを光栄に思います。私が専攻科2年間で訪れた8カ国での経験と夜遅くまで取り組んだ研究が報われました。この賞を励みに春から心新たに大学院でも頑張ります。

【優秀賞】 成長

機械・電気システム工学専攻 2年 宮崎 純
(八戸市立鮫中学校出身)

私の所属する研究室は歴史が浅く、僕たち専攻科2年生が1期生として配属されてから今年でやっと3年が経過しました。思い返すと配属当初は、研究というものを理解しておらず、ただ与えられた課題をこなしていくだけのロボットのような人間だったと思います。しかし、そのような私が今回、特別研究発表会においてこのような賞を受賞することができました。自分自身でも非常に驚いていますが、この3年間頑張ってきた研究が評価されたこと、多くの方々に私たちの研究を認識してもらえたことをとても嬉しく思います。指導教員の佐々木先生をはじめ、多くの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

【優秀賞】 日々の積み重ね

建設環境工学専攻 2年 木村 萌
(八戸市立第三中学校出身)

私は英語が得意ではないため、専攻科特別発表会の英語でのプレゼンの日が徐々に近づくにつれ、不安に押しつぶされそうになっていました。

英語は第一に慣れることです。発表会に向け、家で夜遅く1人でぶつぶつ英語を話していて、ふと「今まで、コツコツ勉強していればよかったな……」と感じました。日々の積み重ねが大事なことは、英語に限らないですね。後輩の皆さんには、1日1日を大切に過ごしてもらいたいです。

最後に、私の高専生活7年間を支えてくださった全ての方々に感謝いたします。4月からは、そんな方々への恩返しのつもりで、社会人として日々努力していきたいと思っています。

花も嵐も、、、、、、

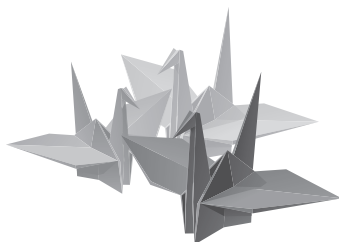
総合科学教育科 平川 武彦

昭和56年（1981）4月に赴任して、35年となり、早いもので3月31日に定年を迎えます。

山岳部顧問として、昭和56年7月の飯豊連峰縦走（4泊5日）に参加し、春の階上岳、5月連休の八甲田連峰睡蓮沼付近の幕営、初夏の岩手山から秋田駒ヶ岳への縦走など多くの思い出があります。先頭で登っていたのが、いつしか、隊列の後ろを歩いていますが、定年まで何とか山行を続けることができました。また、昭和57年入学生の土木工学科から始まり、機械工学科、電気工学科、混合学級（1年、2年の4学科）の学級担任としての奮闘も今では多くの楽しい思い出となっています。

昭和61年の通称61委員会で新分野の新学科構想を委員会で論議したときにロジスティクスの重要性に触れたことが、フランス中心とする欧州技術教育の調査、特にフランス技術短期大学（IUT）との交流のきっかけのひとつです。文部省在外研究員、海外学術調査研究員、先進地域教育調査などの派遣もあり、2005年に国際交流協定の締結へと発展することができました。学内や東北地区高専の協議と支援体制のおかげもあり、八戸高専ではこの10年間のIUTへの学生派遣とフランス人学生の受入れ（どちらも3ヶ月）を発展的に継続しています。

授業をはじめどの活動も教職員や学生の皆様のご協力、ご支援、ご指導、時に叱咤激励があることで行えたことであります。ここから感謝いたします。長い間、ありがとうございます。



光陰矢のごとし

電気情報工学コース 工藤 隆男

昭和51年4月から40年間、八戸高専とともに歩み、この3月に定年退職を迎えます。専門教科担当では、学生の理解度を視覚的に分析可能とするSP表を用いては指名制の放課後強制学習会を行い、担任学生の気持ちの理解には学級日誌をきっかけとし、ロボコン指導では、ガスストーブで焼いた芋を食べながら午前1時ごろまで学生と活動など、充実した日々でした。研究面ではシルバー世代の健康維持に着目した初めての科研費をいただき、データ収集のために吹雪にもめげず卒研学生とスキー場に通いました。独法化になってからはJABEE審査、認証評価、4学期制の実施など、関係する多くの皆様と一緒に、時間に追われながらも乗り切ることができました。

こうして定年を迎えるまで勤めることができましたのも、学生諸君そして、皆様の温かいご指導とご理解・ご協力があったのと心から感謝しております。ありがとうございました。

思い出は打ち寄せる波の様

環境都市・建築デザインコース 金子伸一郎

昭和50年に採用され、この春定年退職します。学生の皆さん、先生方、事務職員の方々、また校内でよくお目にかかる人からも、多くのことを教えられました。ありがとうございました。これまで本校で過ごした思い出は、あの3.11大津波の様に幾度も身体全身に打ち寄せてきます…。私事ですが日常生活の不摂生を改めて、健康を意識した生活を考えていきます。

皆様も、どうぞお体に気を付けて、更なるご活躍を、ご期待申し上げます。

滞っていた旧友との音信を再開し、遊びの輪を広げ、楽しみを交していきたいと思えます。皆様から色々受けた親切、また優しくして頂いたことは。このことは、決して忘れません。

I n e v e r f o r g e t i t

八戸高専における41年間、お世話になった方々へ、深く感謝いたします。

平成27年度スタート 4 学期制についての中間報告

八戸工業高等専門学校

校長 岡 田 益 男

本校は平成27年4月から4学期制を開始しました。4学期制導入の社会的背景、目的、利点、実施内容等については昨年7月発行の高専だよりで紹介しました。4学期制を導入して10ヶ月が経過し、現時点での4学期制の利点や課題、今後についてご報告します。

4学期制の利点である(1)「週複数回授業による学習の集中強度化」については、これまでの2学期制に比べ、授業の進度が早く、5月末日や7月末日に試験が実施されたこともあって、慌ただしい日程で慣れないという感想をもった学生もいたようです。それでは2学期制に比較して試験結果はどうかというと、けっして悪い結果にはなっており、年度末には詳細が明らかになります。(2)「履修の自由度向上」については、例えば1年次の履修可能単位数が32単位から34単位に増加し進級要件の29単位に比較して5単位の余裕がありますので、進級率は上がるだろうと予想します。(3)「短期留学やインターンシップなどの機会の充実」について、昨年10月にはシンガポールに31名の学生が短期留学し、8月に香港、9月にシンガポールの学生をそれぞれ20名受け入れ、また、インターンシップ等も盛んに行っております。

4学期制導入の目的の一つとして、秋学期を主な学期として、自ら課題を見つけ、調査や実験をし、自ら答えを導き出す自主探究学習の実施があります。この導入の必要性については、昨年の高専だよりで紹介しました。1～3年次学生の自主探究学習支援のために、各クラスには2名のコーディネーターを配置すると共に、学生が自主探究学習の課題を設定できるように、事前のガイダンスや自主探究セミナーを開講しました。しかし、小中学校で、また、高専でこれまでこのような経験がなかった為に、多くの学生が「自分が調査してみたいことがわからない」、「欲しいもの」が欲しい」等と課題設定に大変苦慮していたようです。

自主探究学習の発表会は11月4日（3年生）、5日（2年生）、6日（1年生）に開催されました。ポスター表彰の審査委員はとして高専機構関係者、教職員、保護者、学生の皆様方にお願ひしました。

来場者は3日間で延べ915名でした。高専機構本部の特別審査委員からは、「柔軟な学生ならではの発想で面白かった」、「学生の堂々した発表が素晴らしかった」、「質問にもきちんと答えていた」、「高専を先導する試みで支援したい」など極めて高い評価をいただきました。学内の教員からも、「普段の授業時間中にはみられない、生き活きて人前で説明する学生の姿に、新たな学生の素晴らしい一面を発見できた」など感嘆の声が多く上がりました。

ただ、秋学期は授業がなく、学生が自ら計画を立て行動することを基本とした為に、自主探究学習に費やす時間が学生によってかなり差があり、クラブ活動の4、5年生から、「秋学期に1～3年生に連絡が取れず、クラブ活動が十分にできなくなった」、また、保護者の方から「登校する機会を増やして欲しい」などの課題や要望が出されています。さらに、コーディネーターが、個人的な相談を受ける場合や、定期的に週1回発表会を実施するなど対応が異なるという課題も指摘されています。改善案として、次年度の秋学期には、最低週に1回程度は学校で発表会などを実施する等、今後の自主探究学習の在り方について4学期実施委員会が検討しております。

平成28年2月6日から3月14日まで発展学習が実施され、学生は3単位まで科目を履修できます。取得した単位は次年度に認定されます。現在、約500名近くの学生が履修予定です。2学期制では、2月中旬～3月末日までが春休みでしたが、本年度は多くの学生が登校することになります。これまで、1科目でも不合格になると進級できないという課題がありましたが、平成28年度からは自主探究学習単位や発展学習単位を取得すれば、単位に余裕ができ、留年する学生は少なくなるものと期待しております。

4学期制における寮について、保護者の皆様のご希望に沿えるように、希望する学生について寮の使用を認めております。保護者の皆様には、上記のように本校が新たに推進する4学期制、自主探究学習などについてご理解賜り、ご家庭においてもお子様の教育やご指導に、ご協力ご支援賜りますようお願い申し上げます。

厚生補導委員会から

学生主事 中村 重人

厚生補導委員会から、学生、保護者の皆様にご理解いただきたい事項についてご連絡いたします。

1. クラブ活動について

夏季休業中のクラブの合宿は、例年、記念会館（男子）と錬成館（女子）を使っていましたが、夏の暑い時期に大人数が1部屋にいるため種々の問題があり、食事についても十分な対応が取れなかったことから、今年度は、学寮の各部屋を利用し、食事も外部業者に委託して提供する体制を取りました。例年より、健康的な宿泊となりましたが、来年度は同様な給食体制は難しいため、現在検討中です。学年末休業中の合宿については、3月中旬まで発展学習期間があり、クラブ活動ができることから、行わないことといたしました。

冬学期から、日曜日のクラブ等課外活動は、大会への出場を除き、原則禁止としています。休み無く部活動をしているクラブも見られるため、学生の自学自習時間を確保し学力向上となることを主な目的としております。ご理解をお願いいたします。

2. 携帯電話等の使用制限について

新年度から、携帯電話等の使用制限を8:30から授業終了時まで（授業が早く終わっても12:45までは使用禁止）と変更する予定です。使用制限はその学生自身のためだけでなく、SNS等を見なかった、返信しなかったなどで発生するトラブルから学生を守ること、また不用意な書き込みを防ぎ、携帯電話等の使用について考える機会を与えることも目的ですのでご理解をお願いいたします。なお、どうしても使用したい場合は近くの教職員に許可を得れば良いことにしております。

3. 学生の問題行動について

今年度の学生の問題行動として、SNSへの不適切な書き込み、カンニング、暴力行為、いじめなどがありました。特に、いじめの問題は加害者がその重大性を理解していないこともあるようです。相手がどう感じるかという、相手を思いやる気持ちを常に持って行動して欲しいと思います。本校ではいじめに対しては厳しく対処しております。保護者の皆様におかれましても、学生と緊密にコミュニケーションを取り、問題のある時には早期に本校教職員にご相談いただきたいと思います。以上、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

見学旅行

物質工学科4年 坂本 彩
(八戸市立長者中学校出身)

私たちは4日間の見学旅行で、味の素、ニッкауキスキー、JX日鉱日石エネルギー、サッポロビール、花王、大日精化を見学しました。

見学先では、企業の仕事内容の説明、工場内見学はもちろんのこと、高専を卒業した先輩方から、直接アドバイスを聞くこともできました。

毎日スーツを着て、満員電車に乗って移動したためにとっても疲れました。しかし、企業について知ることができただけでなく、クラスの仲間全員と楽しく夕飯を食べることができたので、参加してよかったです。



インターンシップで学んだこと

物質工学科4年 南 瑠美
(八戸市立是川中学校出身)

私はJX日鉱日石エネルギー株式会社中央技術研究所に5日間お世話になりました。研修内容は会社の施設・製油所見学、石油製品試験です。見学では「お客様の安心・満足をさせる」という高い意識とそれを実現するシステムや社員一人一人の繊細な志に圧倒されました。見学先でお会いした方々が仕事に誇りを持ち、心から楽しんで仕事をしていたのが印象深いです。石油製品試験では安全に留意し、先輩方の丁寧な説明と助言を受けながら作業しました。小さなミスがお客様の信頼を失うという責任の重さを知り、緊張感を持って作業に取り組みました。研修前日の会食では担当者の方々や他高専の実習生と親睦を深め、充実した研修期間を送れました。このインターンシップでは社会人と学生の違い、社会に出ることで伴う責任と自由度の大きさを実感することができました。この経験を忘れず、今後に生かしていきたいです。

新任教職員紹介

- ①氏名
- ②出身地
- ③所属・職名
- ④前職

- ① 新井 宏忠
- ② 群馬県太田市
- ③ マテリアル・バイオ工学コース 准教授
- ④ 株式会社神戸製鋼所 技術開発本部 材料研究所 精錬凝固研究室

9月1日付でマテリアル・バイオ工学コースに赴任しました新井です。今年度から物質工学科はマテリアル・バイオ工学コースへと再編され、材料について広く学べる場となりました。その中で材料、特に金属に関する教育・研究を担当します。

授業等の教育活動に関しては初心者域をでませんが、教育・研究活動を行うにあたり、「考えること」を大事にしたいと考えています。これが意味するところは、なぜ・何を・どのように・いつまでに、を自ら認識し、それを実行するための適切な行動をとること、です。教育や研究を通じて、民間企業に所属していたときの実体験、これまでの指導経験も交えながら、それを伝えていきたいと思っています。

まだまだ不慣れな部分もありますが、また初心に帰って学生の皆さんと一緒に学んでいきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

-
- ① 門磨 義浩
 - ② 東京都目黒区
 - ③ マテリアル・バイオ工学コース 准教授
 - ④ 岩手大学大学院工学研究科

昨年12月より、マテリアル・バイオ工学コースに着任いたしました門磨と申します。専門は、無機化学、電気化学で、リチウム二次電池をはじめとする高機能二次電池の材料の研究開発を行っております。前職では、応用化学・生命工学科に所属し学生実験や演習などを担当しておりました。

東北地区の子供はまじめという印象を持っておりましたが、こちらにきて、さらにその思いを強くいたしました。その反面、積極的に表に出ていく意思が弱いようにも感じております。これからは、できるだけ積極的に発言・行動できる大人になってもらうべく、講義や実験などの学校生活を通して、教育研究指導を行いたいと考えております。できるだけ早く、高専の雰囲気になじめよう努力して参りたいとおもいます。

まだ、不慣れな面も多く、皆様には何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

-
- ① 大久保 亜希子
 - ② 青森県八戸市
 - ③ 総務課 財務係
 - ④ エプソンアトミックス株式会社

6月から総務課1階財務グループに所属し、財務を担当させていただいております大久保と申します。

出産、育児のため約5年のブランクがあつての社会復帰となりました。家では育児に四苦八苦、職場では手探りで右往左往する日々でした。気がつくとあっという間に8ヶ月が経ちますが、まだまだ半人前で、まわりの方々にいろいろ助けられています。分からないことがあつたら誰かに聞く！という、人とのコミュニケーションを大切にこれからも精進していきたいと思っています。良い刺激を吸収し、ゆっくりですが着実に成長していこうと思っています。

至らない点が数多くあり、これからもご迷惑をおかけすると思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

球技大会を終えて

物質工学科 4 年 小林 潤哉
(むつ市立大平中学校出身)

2015年11月19日木曜日に行われた校内球技大会は、天候に恵まれず、とても寒い中での開催となりました。競技を行っている途中で雨が降り出してしまい、外競技の中断も考えましたが、選手の皆さんの気合や、担当委員の素早い試合運びなどによって、なんとか最後まで行うことができました。中でも、ミニサッカーの決勝と三位決定戦は、グラウンドの状態を見る限り、行うことは不可能かと思われました。しかしそのとき、第一体育館でフットサル形式の試合を行えないだろうかという選手の皆さんからの声が上がったのです。そこで私たち行事委員は、バスケットボールの決勝戦が終了した後、バレーボールのコートを第二体育館に移動し、第一体育館でミニサッカーの決勝と三位決定戦を行いました。これは選手の皆さんの機転の利いた発想と、委員の迅速な対応がなければならなかったことです。みなさん、本当にありがとうございました。そして、外での競技に出場したみなさん、ごめんなさい。本当に寒かったと思います。委員長の僕、実は雨男なんです。(笑)

今回の球技大会で、私は去年までとは違い、委員長という立場で参加することとなりました。そこで知ったのは、これまでの委員長がどれほど大変な思いをしてきたのかということ、そして、委員達の頼もしさです。各競技の進行状況を把握するため、すべての競技会場を駆けずり回りました。試合に出ることよりもそのほうが大変でした。ですが、会場に行くたびにその競技の責任者の委員が、「大丈夫、時間通りに進んでるよ。」と報告してくれたため、大きなトラブルもなく日程を消化することができました。本当に頼もしかったです。

こうして球技大会を開催できたことに、本当に感謝しています。何もできない委員長でしたが、ここで感謝の気持ちを伝えさせてください。協力してくださった先生方、競技に参加してくれた選手の皆さん、そして、副委員長のZ4相馬君をはじめとする、迅速な運営を行ってくれた委員の皆さん、本当にありがとうございました。

高専祭を振り返って

機械工学科 5 年 久保田 禎人
(青森市立新城中学校出身)

高専祭実行委員長という役職に就くことによって学び、そして自分の糧になったことがたくさんあります。そのうちのいくつかのことを書こうと思います。

一つ目は、全体を統括することに対しての責任を学んだことです。高専祭のような大きなイベントを行うにあたり、トラブルが発生して、スケジュール通りに進行しなくなることは避けられません。責任は全て実行委員長が負うのであり、トラブルが生じたときの対処に問題があれば、実行委員長がしっかりしていないからだと思われるでしょう。そこで、考えられる範囲でどんな事が起きても対処できるように熟考し、対処方法を考えました。結果として、大きなトラブルは生じませんでしたが、自分の行動一つによって八戸高専のイメージが良くも悪くもなるのだという自覚を持ち、行動する事ができました。これらは、これから社会に出るにあたっても大事な考えであり、自分の糧になったと思います。

二つ目は、沢山の人々に支えられてこそ、成せるものがあるのだと知ったことです。こんな不甲斐無い自分でも、無事に高専祭を成功させることができたのは皆さんの協力があったからこそです。自分一人の力だけでは絶対に成し得ないことでした。高専祭実行委員の役員の皆さん、高専祭に携わってくれた学生の皆さんの協力があって初めて実施することができた第49回高専祭だったのだと感じています。

在校生のみなさん、私は学生のうちに責任のある役職に就くことは、自分の成長を大きく促してくれる最高のチャンスだと感じました。みなさんには、在学中に、是非、積極的にこういったことにチャレンジして欲しいと思います。それによって、何か一つでも自分の殻を破ることができるかもしれないからです。

最後に、学生のみなさんだけではなく、地域の方々、そして教職員の皆様のご協力に心から感謝します。本当にありがとうございました。

「北辰寮より」



寮務主事 河村 信治

今年度の北辰寮は、初めて経験する4学期制（特に秋学期と発展学習期間）や夏合宿への対応を含め、試行錯誤の連続でした。これまで進行してきた近年の学寮の変革を少しふりかえてみます。

一昨年度から女子の定員増と、それに伴い女子、高学年男子、留学生のフロア配分を見直してきました。北辰寮の女子棟は、昭和63（1988）年度以来S棟（定員54名）でした。永らく男子中心に設計されてきた寮棟は、セキュリティ（防犯・安全）面で不備が多く、またトイレ等の改修が必要で、これまですぐには女子フロア増床が進められてきませんでした。しかし女子学生の増加に伴い、入寮可能条件に著しい男女の格差が生じてしまいました。そこで高学年男子用だったB棟2、3階のトイレ、談話室・補食室等を改修し、さらにシャワー室を新設して女子フロアとし、先にゲストフロアとして整備されていたB棟1階を留学生女子用として、B棟全体を第2の女子棟としました（平成26年度）。これにより女子（日本人）の定員は84名に増員され、男女の入寮可能条件はほぼ平等になりました。

そのほか施設面では、懸案であった老朽化した水回り等の改修に予算がつき、E棟（26年度）およびW棟西側（27年度）の古いトイレが改修されました。また厨房施設の改修（26、27年度）、厳冬期に出力不足だった風呂のボイラーを補強するガス給湯設備の設置（27年度）など、積年の大きな課題の解決が進みました。一方で最も古いN棟は経年劣化した屋上の改修が必要となっています。

管理面では、拡張した女子フロアの指導や点検のために非常勤の寮母さんを雇用（26年度～）しました。またセキュリティの観点から、各棟のオートロック化と各フロアへの防犯カメラの設置が進められます。棟出入口のオートロックはすでに女子（S、B）棟に設置（26年度）されましたが、今後順次低学年男子棟にも設置していきます。防犯カメラはまず今年度内に女子フロアとW

棟への設置が進められます。

給食関係では、26年度から寮生会給食委員会と給食業者の方との懇談が月1回程度定期的に開催されるようになり、相互の要望、現在予算でどこまでできるのか、何ができないのか、寮務委員も交えてかなり率直な意見交換ができるようになっていました。しかし今年は秋学期の在寮者が想定以上に少なく、また日々の在寮者数の変動が事前に把握できず、給食のマネジメントが不全状態に陥ってしまいました。来年度に向けて、給食運営に大きく影響する外出泊規則を見直さなければなりません。

さらに今年度これまでになく実施方法の変更や見直しが続けられているのが、点呼と宿直業務、そして指導寮生および高学年寮生の任務です。教務的な「自主探究」に呼応する形になりますが、本来、教育寮としての究極の理想は、寮生自身の自律的な生活管理になります。一方で、学校も事業者として教職員の夜間業務負担の削減が求められ、宿日直指導業務の一部が外部委託化されるようになり（26年度～）、宿直業務を合理的に見直す必要がありました。これまでの北辰寮の指導・管理方法は、寮生の主体的な生活改善意識を発揮しにくい指向であったといえます。他高専と比較しても寮生数の多い学寮の安全管理のため、何か問題があれば管理指向に寄りますし、理念と現実のバランスの上で、少しセルフ・マネジメント的な方向に舵を切り直そうとしているのが今年度の状況であるといえます。

女子や留学生が増えたのみならず、大規模寮なりにもともとさまざまな個性を持った人たちの生活の場です。みんなが一律な集団生活をめざすわけではありません。しかし人の負担や迷惑を顧みずに自分（たち）の都合のみで権利を行使できる場でもありません。大人として責任を持って自立した生活をするのに比べると制約の多い環境のなかで、いかにお互いできるだけ気持ちよく生活するか、まさしく「共生」のトレーニングの場であることを忘れないでください。

あらためて今年度は試行錯誤の途上の混乱もあり、寮生と保護者の皆様方にもいろいろご負担やご迷惑おかけしましたことお詫び申し上げますとともに、多大なご理解とご協力を賜りましたことに深く感謝いたします。

ブックハンティング 実施報告



平成27年7月1日（水）に伊吉書院西店において恒例のブックハンティングを実施しました。参加者は学生会図書委員を中心に11名で、情報工学、技術工学、小説、日本を紹介する本などが主に選書されました。

図書館ではブックハンティングコーナーを設けて展示し、皆様のご利用をお待ちしています。

◎ブックハンティングでの選書紹介

書 名	著 者 名	出 版 社
住宅・インテリアの教科書：世界の巨匠に学ぶ建築デザインの基本	鈴木 敏彦	エクスナレッジ
無人暗殺機ドローンの誕生	Whittle Richard	文藝春秋
探検家の日々本本	角幡 唯介	幻冬舎
今までにない職業をつくる	甲野 善紀	ミシマ社
キャプテンメッシの挑戦	藤坂 ガルシア 千鶴	朝日新聞出版
なぜ、この人と話をすると楽になるのか	吉田 尚記	太田出版
「男の娘（おとこのこ）」たち	川本 直	河出書房新社
人間関係が楽になるア德勒の教え	岩井 俊憲	大和書房
スベードの3	朝井 リョウ	講談社
脱・限界集落株式会社	黒野 伸一	小学館
君の臍臓をたべたい	住野 よる	双葉社
ウェイド有機化学 上	Wade L. G.	丸善出版
ウェイド有機化学 下	Wade L. G.	丸善出版
Effective C++：プログラムとデザインを改良するための55項目	Meyers Scott	丸善出版
Excelで学ぶ多変量解析入門：Excel2013/Excel2010対応版	菅 民郎	オーム社
Unity5 3Dゲーム開発講座：ユニティちゃんで作る本格アクションゲーム	まつだす	翔泳社
Amazing science：驚きのエンターテインメントサイエンス工作25	Voltz Stephen	オライリー・ジャパン

書 名	著 者 名	出 版 社
遺書：関東連合崩壊の真実と、ある兄弟の絆	瓜田 純士	太田出版
Effective Java	Bloch Joshua	丸善出版
プレゼンテーションZen：プレゼンのデザインと伝え方に関するシンプルなアイデア	Reynolds Garr	丸善出版
よくわかる物理基礎+物理：授業の理解から入試対策まで	右近 修治	学研教育出版
JAPAN：A SHORT HISTORY	西海 コエン	IBCパブリッシング
Ekiben：the ultimate Japanese travel food：the box lunch you buy at the station and eat on the train	戸村 亜紀	IBCパブリッシング
ストロガッツ非線形ダイナミクスとカオス：数学的基礎から物理・生物・化学・工学への応用まで	Strogatz Steven H.	丸善出版
データ匿名化手法：ヘルスデータ事例に学ぶ個人情報保護	El Emam Khaled	オライリー・ジャパン
作ること学ぶ：Makerを育てる新しい教育のメソッド	Martinez Sylvia Libow	オライリー・ジャパン
3D Printing Handbook：自己表現のための新しいツールを使う・考える	平本 知樹	オライリー・ジャパン
Coders at Work：プログラミングの技をめぐる探求	Seibel Peter	オーム社
体幹力を上げるコアトレーニング	木場 克己	成美堂出版
Javaによる関数型プログラミング：Java8ラムダ式とStream	Subramaniam Venkat	オライリー・ジャパン
演習版・微積分で解いて得する物理：力学／電磁気学がスラスラ解ける	細川 貴英	オーム社
微積分で解いて得する物理：力学／電磁気学がスラスラ解ける	細川 貴英	オーム社
偏微分方程式	東京大学工学教程編集委員会	丸善出版
Imagining Japan：A Memorable Journey	VardamanJames M.	IBCパブリッシング
ぼくは明日、昨日のきみとデートする	七月 隆文	宝島社
地域再生の戦略：「交通まちづくり」というアプローチ	宇都宮 浄人	筑摩書房
私の嫌いな10の言葉	中島 義道	新潮社



平成27年度 国際交流活動一覧

国際交流委員長 阿 部 恵

本校ではグローバル社会で積極的に活躍できるエンジニア育成に向けて、海外の連携校と積極的に交流を行っています。今年度、フランス、香港、シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシアから合計81名を受け入れました。また、マレーシア、フィンランド、フランス、タイ、シンガポール、中国に合計55名を派遣し、研究やプロジェクトや異文化交流を行いました。学生たちは交流活動を通して大きく成長しています。学生たちの今後の更なる活躍を期待しています。

平成27年度 学生受入・派遣実績

	日 程	交流国・大学等名	対象学年	人数	期 間	奨学金等
学 生 受 入	4/6～6/30	フランス	本科5年相当	6	約3ヶ月	JASSO 奨学金 80,000 円／月
	11/1～1/19	リール A 技術短期大学 他		1		
	4/25～5/2	マレーシア マラ工科大学 他		26	8 日 間	
	8/23～29	香港 香港 IVE	大 学 生 相 当	20	7 日 間	
	9/23～10/1	シンガポール テマセクポリテクニク	本科3年相当	20	9 日 間	JASSO 奨学金 80,000 円／月
	3/7～15	マレーシア マラ工科大学	本科4年相当	8	9 日 間	JASSO 奨学金 80,000 円／月
学 生 派 遣	8/4～11	マレーシア マラ工科大学 他	専 攻 科 1 年	4	8 日 間	JASSO 奨学金 70,000 円／月
	9/1～11/1	フィンランド トゥルク応用科学大学	専 攻 科 1 年	1	約2ヶ月	JASSO 奨学金 80,000 円／月
	11/10～13	フィンランド トゥルク応用科学大学 他	本 科 3 年	1	4 日 間	高専機構より 旅費支給
	9/3～11/13	フランス リール A 技術短期大学 他	専 攻 科 1 年	8	約3ヶ月	JASSO 奨学金 80,000 円／月
	9/21～11/5	タイ キングモンクット工科大学 ラカバン校	専 攻 科 1 年	3	約3ヶ月	JASSO 奨学金 70,000 円／月
	10/3～18	シンガポール テマセクポリテクニク	本科3～5年	12	約2週間	JASSO 奨学金 100,000 円／月
			本科1～3年	19		青森県教育庁補助金 100,000 円／月
	10/16～26	中国 大連交通大学、大連理工大学	専 攻 科 1 年	7	11 日 間	



女性の活躍する社会に向けて 高専にできることは？

男女共同参画委員長 戸田山みどり

女性活躍推進法の成立

昨年8月、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（いわゆる女性活躍推進法）」が国会で成立しました。これは、女性の職業生活における活躍を推進し、豊かで活力ある社会の実現を図ることを目的としたもので、優良とされた事業主は国によって認定されることになるはずす。

このような法律はなぜ必要なのでしょう？日本は今、第二次世界大戦後に浸透した家族観を大きく変えなければならない瀬戸際に来ている、ということでしょう。長時間労働による健康被害の問題や企業の不安定化、雇用の多様化、収入格差などさまざまな要因が挙げられます。しかし、何と言っても、有能な人材が家事・育児という無給の仕事にのみ従事することの損失に、ようやく社会は目を向けるようになってきたということだと思います。しかも、日本は再就職がしにくい社会です。正社員であった女性が育児退職した場合、正社員に戻れる確率は4人に1人でしかなく、数年後に仕事に戻っても、生涯年収としては1億円から2億円の損失であると言われています。

技術者の世界では資格があれば転職が容易な分野もありますが、すべての職種がそういうわけではありません。出産後も働き続けやすい職場を選んで就職し、制度を最大限に利用して仕事を続けることが重要です。法律で公開が義務づけられる企業の「働きやすさ」のデータを、ぜひ活用してください。

八戸高専における男女共同参画に関する活動

八戸高専は2013年から、岩手大学を中心とした文部科学省女性研究者研究活動支援事業「いわての復興に貢献する女性研究者支援」に連携機関として参加してきました。今年度は岩手大学の女性研究者と本校の齋麻子准教授の共同研究に対する助成を受けた他、研究力向上のためのセミナーへ

の参加、連携機関の女性研究者との研究交流会への参加などを行ってきました。学生対象には、女性研究者ロールモデル講演会に高専バスを利用して14名の女子学生が参加し、あわせてオープンキャンパスの見学もしてきました。

また、昨年からはじまった本校COCの事業に、今年は女子学生のキャリア支援の分野を設けました。4年生は秋学期を利用して青森県主催の各種セミナーに参加し、低学年（こちらは男女とも）は弘前大学の総合文化祭・ミニオープンキャンパスの見学をしました。

さらに12月には仙台で東北地区の高専の女子学生が日頃の活動を企業の方や中学生とその保護者にむけて発表する「高専女子フォーラムin東北」が開催されました。本校からは12名の女子学生が参加し、発展学習の成果や国際交流、寮生活などを報告しました。そして当日の参加者の投票により、2件の発表が表彰されました。1件は1年生による自主探究の成果とその過程に関するもの、もう1件は4年生による自分たちのキャリア（最終的には地元で起業！）を見つめた秋学期の活動報告でした。

2月には、弘前大学と青森県庁共催の県庁技術職の女性によるロールモデル報告会が実施され、女子学生2名が参加しました。本校専攻科の卒業生の報告もあり、責任ある仕事につくことの充実感を楽しそうに伝えていてくれました。

来年度以降に向けて

3年間お世話になりました岩手大学の事業は今年度で終了しますが、今後も研究者同士の交流や女子学生への情報提供は継続していく予定です。なんといっても八戸と盛岡は南部という共通のルーツをもち、他県とはいえつながりは深いからです。いっぽう、弘前大学や青森県庁との連携は、今年度から本格化してきました。県内就職者を増やす、というCOCの課題の1つに答えるためにも、若い女性の県外流出というショッキングな懸念を解消するためにも、地域で活躍できる女性人材の育成が重要な課題となっています。本校の女子学生が生き生きと働きつづける未来をみずえて活動していきたいと思います。

「相談室から」

相談室長 平川 武彦

卒業や進学が決まりほっとしている時期かと思
います。

ご卒業、ご進級おめでとうございます。

また、人によっては残念な結果だった人がいる
かもしれません。しかし、人は成功よりも失敗から
多くのことを学ぶ場合が多いのです。4月から、
どう行動するかが今後にとって重要です。力を
発揮しましょう。

悩んだり、迷ったり、どう行動したらよいか分
からなくなったら、ぜひ、相談室に来てくださ
い。

また、ちょっと元気がない、あるいは、やる気
が出ない人も、やる気のスイッチを探しに、ぜ
ひ、相談室に来てください。

相談室の看護師さんやカウンセラーの先生方と
話すことで見つかることもあります。

就職や進学の面接でうまくいかない時、カウ
ンセラーがあなたの面接時の状況を確認して、合格
できるような面接のコツを知ることができると思
います。

保護者の方で、学生について相談したいときも
カウンセラーと面談できます。

カウンセラーの担当日は、以下の通りです。

4月以降も継続されます。

第一木曜日 坂本 玲子 産業カウンセラー

第一金曜日 土屋 文彦 臨床心理士

第二・四水曜日 笹 博 精神科医師

第二・四木曜日 石川 善子 臨床心理士

第三水曜日 中西 智子 臨床心理士

インターカー 榎本看護師

このほかに教職員向けのカウンセラーにも学生
が面談することが可能です。

詳しくは、掲示板の案内をご覧ください。電話
(0178-27-7236 保健室)での確認も可能です。

懇話室での懇話タイム

月曜日から金曜日まで、授業のある日の毎日
16:00~17:00に相談室となりの懇話室で気楽な
お話の時間を設置しています。

担当は、各コースや総合科学教育科の教員で
す。勉強の分からない点を聞いてもかまいません。
ご活用ください。

直接、担当教員の研究室を訪ねてもかまいません。
電話やメールでもかまいません。

平成28年4月より「障害者差別解消法」が施行
されます。発達障害も含まれます。現在、行われ
ている対応を今後も継続します。

相談室では、さまざまな障害をお持ちで、学生
と保護者が合理的配慮を必要としているとき、関
係教職員と相談をする場を設け、お話し合いの
上、学生一人ひとりに応じた授業や学校生活や寮
生活での支援を行っています。お困りの時、「困
り感」を感じた時、対応が分からない時には、い
つでも気軽にご相談ください。

相談室長 平川 武彦（電話 0178-27-7252）



第 52 回東北地区高等専門学校体育大会ラグビー競技結果

日 程	大 会 会 場	結 果
H27.10/17 ～ 20	くるみクラブ蔵王グラウンド	準 優 勝

第 50 回全国高等専門学校体育大会結果一覧

団体の部（全成績）

競 技 名	大 会 会 場	男 子	女 子
バスケットボール	鹿 児 島 ア リ ー ナ	予選敗退	3 位
サ ッ カ ー	大 分 ス ポ ー ツ 公 園	1 回戦敗退	
剣 道	合志市総合センター ヴィーブル総合体育館		1 回戦敗退
ラグビーフットボール	神 戸 総 合 運 動 公 園 ユニバー記念競技場	1 回戦敗退	

個人の部

競 技 名	種 目 名	科 年	氏 名	成 績
陸 上 競 技	男子800m	Z 5	下 山 祐 生	予選敗退
	男子100m	C 4	工 藤 泰 良	予選敗退
	男子3000mSC	C 2	小 橋 和 樹	12位
	男子3000mSC	C 2	小 山 浩 亮	21位
	男子走高跳	Z 2	赤 坂 健 太	8 位
	女子800m	C 3	前 川 由 貴	予選敗退
	女子3000m	C 3	前 川 由 貴	8 位
	女子100mH	C 3	田 中 早 紀	8 位
	女子走高跳	C 2	津 村 舞 奈	6 位
	女子砲丸投	C 2	横 浜 希	21位
剣 道	女子	C 2	佐々木 智 帆	1 回戦敗退
ソフトテニス	男子ダブルス	M 4	高 橋 賢 都	2 回戦敗退
		E 3	浪 岡 洋 史	
	女子ダブルス	C 4	沢 谷 実 里	初戦敗退
		Z 3	粒 来 真優子	
	女子シングルス	C 4	沢 谷 実 里	優 勝
		Z 3	粒 来 真優子	準 優 勝
柔 道	女子	C 4	浦 田 夢 月	準 優 勝
水 泳	男子100m背泳ぎ	Z 4	新 毛 友 哉	予選敗退
	男子200m背泳ぎ	Z 4	新 毛 友 哉	予選敗退
	男子200m個人メドレー	C 4	小 林 潤 哉	予選敗退
	男子400m自由形	C 4	小 林 潤 哉	予選敗退
	女子50mバタフライ	Z 2	秋 山 悠 希	予選敗退

八戸から世界に羽ばたく皆さんのために

～文部科学省「地(知)の拠点(COC)整備事業」
八戸高専プログラムの紹介～

COC事業推進責任者 沢村 利洋

自分の将来の「職」について考えていますか？
例えば、「自動車に関わりたい」と思っている
としましょう。自動車産業は自動車メーカーだけ
で成り立っている訳ではないのはご承知のとおり
です。例えば、タイヤやワイパはゴム会社の製品
です。ボルトなどの精密部品に必要な職人的技術
は町工場が持っていたりします。最近では、安全
性や自動化のために、センサやIT技術の需要も
増えてきており、これも得意としている会社に外
注されます。これらの製造を実現させる工作機器
も重要です。車が走るには、当然、ガソリンの安
定供給や、適切な道路網構築が必須です。このよ
うに、様々な企業が連携して消費者に向けた製品
が作られます。ある一工場が、実は世界中のメー
カーに製品を供給しているという例もある訳で
す。

ここに、平成24年に経済産業省の行った製造業
に関する調査結果（参照：経済産業省 平成24年
経済センサスー活動調査（製造業に関する速報）
結果の概要）があります。このデータによると、
全国には約12万の製造業に携わる会社（事業所
数）があるそうです。青森県には約1000事業所あ
るそうです。青森県内外に関わらず、多くの学生
諸君は、その中から就職先を決めるのです。

いまの世の中、どのような分野においても、世
界を意識せずにはいられません。しかし、その考
えの基礎は、その人が今いる地域の文化・思想と
なることでしょう。地元を知ることによってその違
いが分かり、よりよい行動を理解し選択すること
ができるようになります。もちろん、自分が希望
する「職」の分野や地域の選択に関しても、意思
を明確にできることでしょう。

平成28年度で3年目に突入する八戸高専COC
事業では、授業においてはシラバスに「地域志向
科目」という欄を新設し、地域を意識した内容を
盛り込んでいく予定です。また、地域の企業や公
的機関と連携したイベントも多数計画していま
す。是非、地域を知り自分の基礎を作り上げ、世
界に羽ばたける人になって下さい。

※COC事業詳細は、下記HPをご参照ください。

<http://www.hachinohe-ct.ac.jp/coc/>

<平成27年度各種コンテスト結果一覧>

本田宗一郎杯 Honda エコ マイレージチャレンジ 2015 第35回 全国大会

日 程：平成27年9月20日(日)
会 場：ツインリンクもてぎ（栃木県芳賀郡茂木町）
結 果：参加クラス グループⅢ(大学・短大・高専・専門学校生クラス)
◎八戸高専自動車工学部NP号Ⅲ 3位
◎八戸高専自動車工学部BG号 4位



全国高等専門学校 第26回プログラミングコンテスト

日 程：平成27年10月11日(日)
～12日(月)
会 場：ホクト文化ホール
（長野県長野市）
結 果：
◎Vitra Recipe
ースマートグラス料理支援
システムー
敢闘賞（備考：自由部門）
◎プログラムが一晩でやって
くれました
文部科学大臣賞、プロコン
競技部門優勝、情報処理学
会若手奨励賞、NAPROCK
PROCON 2015競技部門
Champion（備考：競技部門）



アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2015東北地区大会

日 程：平成27年10月25日(日)
会 場：秋田市立体育館（秋田県秋田市）
結 果：◎Aチーム YABUSAME 初戦敗退
◎Bチーム 大冠乱射 初戦敗退



全国高等専門学校デザインコンペティション2015 in 紀の国わかやま

日 程：平成27年11月14日(土)
～15日(日)
会 場：和歌山県民文化会館
（和歌山県和歌山市）
結 果：◎陸奥の桜花
～倭武多の如し～
12位（備考：構造部門）
◎五郎丸 39位
（備考：構造部門）





卒業生・修了生表彰



校 長 賞		賞		C	寺 下 美 穂	卒 業 ・ 特 別 研 究 最 優 秀 賞	M	野 崎 晃 太	Z	馬 渡 大 壮
学 業 成 績 優 秀 賞		賞		M	庵 夢 郎	卒 業 ・ 特 別 研 究 優 秀 賞	E	日 山 拓 海	ASE	出 川 貴 彬
		賞		E	寺 下 美 穂		C	五 戸 泰 生	C	下 山 上 祐 生
		賞		C	寺 下 美 穂		M	蔵 勝 一 郎	Z	三 上 祐 純
		賞		Z	榎 小 林 端 恵		E	松 橋 芽 志	Z	宮 木 村 亮
学 年 学 業 成 績 優 秀 賞		賞		ASM	小 田 福 沢 下 田 崎 村 山 米 内 山 寺 下 部 石 田 竹 長 根 野 福 宮 向 井 長 島 谷 部 野 山 相 野 寺 小 野 橋 水 清 土 阿 木 部 村 藤 雄 直 佐 杉 野 崎 楓 優 古 屋 梨 子 田 荒 谷 村 絵 理 植 太 田 井 神 向 山 端 向 小 坂 高 武 田 澤 野 々 口	課 外 活 動 功 勞 賞	E	林 賢 志	E	船 橋 一 矢
		賞		M	庵 夢 郎		E	日 山 拓 海	E	小 笠 原 正 義
		賞		E	寺 下 美 穂		C	五 戸 泰 生	M	南 館 篤 志
		賞		C	寺 下 美 穂		Z	蔵 勝 一 郎	Z	馬 渡 大 壮
皆 勤 賞		賞		ASE	小 田 福 沢 下 田 崎 村 山 米 内 山 寺 下 部 石 田 竹 長 根 野 福 宮 向 井 長 島 谷 部 野 山 相 野 寺 小 野 橋 水 清 土 阿 木 部 村 藤 雄 直 佐 杉 野 崎 楓 優 古 屋 梨 子 田 荒 谷 村 絵 理 植 太 田 井 神 向 山 端 向 小 坂 高 武 田 澤 野 々 口	学 生 会 ・ 寮 生 会 活 動 功 勞 賞	E	林 賢 志	E	小 笠 原 正 義
		賞		M	庵 夢 郎		E	日 山 拓 海	E	小 笠 原 正 義
		賞		E	寺 下 美 穂		C	五 戸 泰 生	M	南 館 篤 志
		賞		C	寺 下 美 穂		Z	蔵 勝 一 郎	Z	馬 渡 大 壮
精 勤 賞		賞		ASM	小 田 福 沢 下 田 崎 村 山 米 内 山 寺 下 部 石 田 竹 長 根 野 福 宮 向 井 長 島 谷 部 野 山 相 野 寺 小 野 橋 水 清 土 阿 木 部 村 藤 雄 直 佐 杉 野 崎 楓 優 古 屋 梨 子 田 荒 谷 村 絵 理 植 太 田 井 神 向 山 端 向 小 坂 高 武 田 澤 野 々 口	学 生 会 ・ 寮 生 会 活 動 功 勞 賞	E	林 賢 志	E	小 笠 原 正 義
		賞		M	庵 夢 郎		E	日 山 拓 海	E	小 笠 原 正 義
		賞		E	寺 下 美 穂		C	五 戸 泰 生	M	南 館 篤 志
		賞		C	寺 下 美 穂		Z	蔵 勝 一 郎	Z	馬 渡 大 壮



物質工学科第5学年



機械工学科第5学年



建設環境工学科第5学年



電気情報工学科第5学年



専攻科第2学年

平成27年度 各種検定資格合格者一覧

			第1学年					第2学年					第3学年					第4学年					第5学年					合 計	
			M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計		
特別 学修 専 門	一般	実用英語検定準2級	1	2	5	2	10	6	2	3	0	11	2	0	2	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	
		実用英語検定2級	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	5	
		漢字能力検定2級	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
		工業英語検定4級	2	3	1	2	8	4	1	1	2	8	7	2	6	5	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
		工業英語検定3級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
		数学検定準1級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
		TOEIC 400点以上470点未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	2	7	1	3	5	2	11	18	
		TOEIC 470点以上600点未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	1	2	2	7	2	2	1	2	7	16	
		TOEIC 600点以上730点未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	3	0	0	0	2	2	6	6	
		T O E I C 7 3 0 点 以 上	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	1	5	0	2	1	0	3	0	0	0	0	0	9	
		日本語能力試験 N 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
		知的財産管理技能士3級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	専門	ラジオ音響技能検定3級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		デジタル技術検定3級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
		I T パ ス ポ ー ト	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
		基本情報技術者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3	
		応用情報技術者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	
		ボ イ ラ ー 技 士 2 級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		電気主任技術者3種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	
		電気工事士2種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
		危険物取扱者乙種 (第4類)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4	4	3	2	13	9	0	1	1	11	1	0	0	0	1	26	
		危険物取扱者乙種 (第4類以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0	2	5	
		危険物取扱者甲種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	5	5	
課題研究	一般	特別企画学習Ⅰ (テマセク・ポリテク技術英語研修)	1	2	6	5	14	5	1	7	1	14	0	2	0	5	7	2	3	4	0	9	4	2	0	1	7	51	
		特別企画学習Ⅱ (テマセク・ポリテク技術英語研修)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
		特別企画学習Ⅰ (Cool Japan Seminar)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	0	0	0	1	1	0	2	0	3	0	0	0	1	1	7	
		特別企画学習Ⅱ (Cool Japan Seminar)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	4	
		特別企画学習Ⅰ (テマセクポリテクニクとの 出汁・スープ・フリカケ開発交流プログラム)	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	2	0	0	2	4	8	
		特別企画学習Ⅱ (テマセクポリテクニクとの 出汁・スープ・フリカケ開発交流プログラム)	0	0	0	1	1	2	1	3	0	6	0	1	0	0	1	1	3	6	0	10	0	0	1	6	7	25	
	特別企画学習Ⅰ (特別学習)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2		
専門	特別企画学習Ⅰ (電気回路Ⅰ、電磁気学Ⅰ、電子工学Ⅰ、デジタル回路Ⅰ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
	特別企画学習Ⅰ (原子力研修)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1		

スポーツ賞受賞者

ク ラ ブ 名	(表彰を受けた) 団体名等	名 称	クラス	氏 名
ラグビーフットボール部	青 森 県 ラ グ ビ ー フ ッ ト ボ ー ル 協 会	奨 励 賞	Z3	蛭 名 優
男子バレーボール部	八 戸 市 バ レ ー ボ ー ル 協 会	優秀選手賞	Z3	夏 坂 優 希
		奨 励 賞	C5	土 井 博 輝
		奨 励 賞	Z3	今 泉 尚 也
女子バレーボール部	八 戸 市 バ レ ー ボ ー ル 協 会	奨 励 賞	Z4	坂 本 萌
		奨 励 賞	C2	吉 田 千 夏
サ ッ カ ー 部	八 戸 市 サ ッ カ ー 協 会	優秀選手賞	Z5	馬 渡 大 壮
		優秀選手賞	M4	工 藤 雄 太

平成28年度
行 事 予 定 表

[illegible]

- ・学生総会・高専大会壮行会を行う日は短縮授業とする。
- ・到達度試験の10日前の部活動は原則全面禁止とする。

(備考)	○ クラス写真撮影 ○ 入学式 ○ 1年生主要リクテスト 放課前	○ 学業評価日(4/28~5/4) 消費者経済学実習Ⅰ(学生) 消費者経済学実習Ⅱ(学生) 第1学年文化祭(午後) 5/19~20投票票評価アン ケート実施期間	○ 7/18~7/28授業票評価アン ケート実施期間	○ 学業評価日(8/4~8/31) サマーカー(8月)	○ 8/12~9/16自主研究中間 発表期1	○ プロジェクト発表(8月) ○ 東北経済実習Ⅰ大学 ラグビーフットボール競技 (10/14~10/18 秋田) ○ 学業評価日(10/19) (10月15日~11月15日) (10月15日~11月15日) ○ 学業評価日(12/22~1/9) 発表期間2	○ 学生会会長選挙 ○ 通関科学生団体 海外文化 フェスティバル ○ シンポジウム報告(11月下旬)	○ リーダーシップセミナー 第2学生交流会 デサコ2016 in Kochi (12/17~12/18) ○ 学業評価日(12/22~1/9)	○ 東横川川原防止に関する講演会 (2年生) ○ 1/16~1/22授業票評価アン ケート実施期間 ○ 東横川川原防止に関する講演会 (2年生) ○ 1/16~1/22授業票評価アン ケート実施期間 ○ 東横川川原防止に関する講演会 (2年生) ○ 1/16~1/22授業票評価アン ケート実施期間
------	--	---	-------------------------------	--------------------------------	---------------------------	--	---	---	--

八戸工業高等専門学校

※ただし、都合により変更する場合があります。